

教員関係

1. 学部

教員数	専任教員：91人 (62.3%)					非常勤教員：55人 (37.7%)	
職階別専任教員数	教授	准教授	講師	助教	助手		
	39	16	20	13	3		
年齢別専任教員数	25歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～65歳	66歳～70歳	
	3	17	28	21	15	7	
専任教員一人当たりの学生数	18.9人						

2. 大学院

※大学院教員数	専任教員：47人 (94.0%)				非常勤教員：3人 (6.0%)	
職階別専任教員数	教授	准教授	講師	助教		
	17	11	12	7		
年齢別専任教員数	25歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～65歳	66歳～70歳
	0	13	18	11	4	1
専任教員一人当たりの学生数	0.3人					

※大学院専任教員は、学部専任教員と兼任である。

学生関係

1. 学部学生

(1) 学部学生数

人数のうち ( ) は社会人学生

年次	男	女	計	収容定員	収容定員充足率	留年者数	留学生数	海外派遣学生数
6年次	86 (0)	199 (0)	285 (0)	270	105.6%	30	0	0
5年次	84 (0)	211 (0)	295 (0)	270	109.3%	1	0	0
4年次	82 (0)	172 (0)	254 (0)	270	94.1%	3	0	0
3年次	77 (0)	202 (0)	279 (0)	270	103.3%	11	0	0
2年次	100 (0)	219 (0)	319 (0)	270	118.1%	25	0	0
1年次	79 (0)	206 (0)	285 (0)	270	105.6%	18	0	0
合計	508 (0)	1,209 (0)	1,717 (0)	1,620	106.0%	88	0	0

(2) 入学者の推移

平成26年度入学者数	平成27年度入学者数	平成28年度入学者数	平成29年度入学者数	平成30年度入学者数
298	276	276	307	267

(3) 年度別退学者数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
退学者数	38	30	22	16	21
除籍者数					
合計					
中退率	2.2%	1.7%	1.3%	0.9%	1.2%

## 2. 大学院生

### (1) 大学院学生数

人数のうち（ ）は社会人学生

修士課程	年次	男	女	計	収容定員	収容定員充足率	留学者数	海外派遣学生数
	2年次	( )	2(2)	2(2)	5	40.0%	0	0
1年次	1(1)	( )	1(1)	5	20.0%	0	0	
計	1(1)	2(2)	3(3)	10	30.0%	0	0	
博士課程	4年次	2(1)	( )	2(1)	3	66.7%	0	0
	3年次	1(0)	1(0)	2(0)	3	66.7%	0	0
	2年次	1(1)	1(0)	2(1)	3	66.7%	0	0
	1年次	3(0)	1(1)	4(1)	3	133.3%	0	0
	計	7(2)	3(1)	10(3)	12	83.3%	0	0

### (2) 大学院入学者の推移

年度別入学者数	平成26年度入学者数	平成27年度入学者数	平成28年度入学者数	平成29年度入学者数	平成30年度入学者数
修士課程	1	0	2	2	1
博士課程	2	1	2	2	4

### (3) 大学院年度別退学者数

修士課程

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
退学者数	0	1	0	0	1
除籍者数					
合計		1			1
中退率	%	20.0%	%	%	25.0%

博士課程

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
退学者数	0	0	0	1	1
除籍者数					
合計				1	1
中退率	%	%	%	7.1%	12.5%

## 国際交流・社会貢献等の概要

### 1. 海外の協定相手校

次の各国と大学間交流協定を締結しており、交流協定に基づいた共同研究、博士課程学生の交換留学生受入れ、教員の派遣及び招聘による特別講演などを実施している。

- ①チェンマイ大学(タイ)
- ②ラジャヒ大学(バングラディシュ)
- ③昭和ボストン(アメリカ)
- ④ベトナム教育訓練省国際教育開発局(ベトナム)
- ⑤マサチューセッツ薬科健康科学大学(アメリカ)
- ⑥ガジャマダ大学(インドネシア)

### 2. 社会貢献活動

- ・地域の薬剤師会、病院薬剤師会、医師会などの関係団体及び行政機関と連携を図り、医療及び実践的な薬学教育の発展に貢献できるよう努めている。また、高齢者の増加により「在宅医療」が必要とされるなかで、薬剤師としての役割の再認識と他職種との連携を図るため、NPO法人エナガの会の協力を得て、薬剤師及び本学大学院生を対象とした実践的な臨床能力育成プログラムを実施すると共に、学部学生も含めた研修を検討している。
- ・薬剤師の資質向上を図るための卒後研修などの生涯教育プログラムの開発・提供及び実施のための環境整備に努めている。また、特定領域(P)である「健康食品領域研修認定薬剤師制度」の認証取得に伴い、従来の「健康食品講座」を基盤とする健康食品領域の研修事業を一層充実させ、健康食品に関する適正な情報を提供できる薬剤師の養成にも努めている。
- ・地域住民に対し公開市民講座を毎年開催し、薬に関する知識の普及と啓蒙を通して「開かれた大学」をいっそう推進し、地域社会への貢献を目指している。
- ・神戸市東灘区と「地域連携協力に関する協定」を締結し、本学薬学臨床教育センターで「夏休み子どもいろいろ体験スクール」を開催し、薬剤師が日常的に行う調剤業務(計数調剤、水剤、散剤など)や患者様への薬剤の交付と説明を子供たちに体験してもらっている。
- ・神戸市から、災害時における避難所指定を受けており、いつでも避難者の受入れができる体制をとっている。
- ・神戸市消防局と「放射性物質に関する特殊災害発生時の覚書」を締結し、放射線災害発生時の対応への助言や、放射線測定器の提供、放射性物質の分析などの協力を行っている。また、神戸市消防局員を対象とする放射性物質に関する研修及び実習をアイソトープ実験施設において行っている。

- ・神戸市東灘消防署と「市民救命士等の養成に関する覚書」を締結し、本学学生には市民救命士、職員には救急インストラクターの養成を行っている。現在、本学は民間救急講習団体(FAST)として登録されており、学生を市民救命士に養成することにより、応急手当の輪を広げる活動に貢献する。

### 3. 大学間連携

教育や学術、研究活動において協力と交流を推進するため協定を締結しています。

- ①神戸大学
- ②神戸大学大学院医学研究科
- ③大阪薬科大学大学院薬学研究科
- ④芝浦工業大学
- ⑤大阪大学大学院医学系研究科